

## 製品名: Frizzled-1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab11139

研究使用のみ

### 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス、イネ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	71kDa

### 抗原情報

遺伝子名	FZD1
別名	FZD1; Frizzled-1; Fz-1; hFz1; FzE1
遺伝子 ID	8321.0
SwissProt ID	Q9UP38
免疫原	抗血清はヒト FZD1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 15-64

### 背景

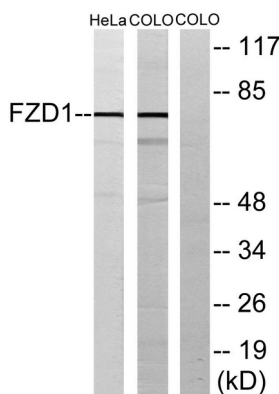
frizzled クラス受容体 1 (FZD1) ホモ・サピエンス 「frizzled」 遺伝子ファミリーのメンバーは、Wnt シグナル伝達タンパク質の受容体である 7 つの膜貫通ドメインタンパク質をコードしています。FZD1 タンパク質は、シグナルペプチド、N 末端細胞外領域のシス

テインリッチドメイン、7つの膜貫通ドメイン、およびC末端PDZドメイン結合モチーフを含みます。FZD1転写産物は様々な組織で発現します。[RefSeq提供、2008年7月],domain:Lys-Thr-X-X-X-Trpモチーフは、Wnt/ $\beta$ -カテニンシグナル伝達経路の活性化に関与しています。 ,domain:FZドメインはWntリガンドとの結合に関与しています。 ,function:Wntタンパク質の受容体。 frizzled受容体のほとんどは、 $\beta$ -カテニンの標準的なシグナル伝達経路に結合しており、disheveledタンパク質の活性化、GSK-3キナーゼの阻害、 $\beta$ -カテニンの核内蓄積、およびWnt標的遺伝子の活性化につながる。PKCとカルシウムフラックスが関与する2番目のシグナル伝達経路が、一部のファミリーメンバーで確認されているが、PKCはWntを介したGSK-3キナーゼの不活性化に必要であると考えられるため、これが別の経路を表すのか、それとも標準的な経路に統合できるのかはまだ明らかではない。どちらの経路もGタンパク質との相互作用を伴うと考えられる。組織形態形成中および/または分化組織における極性情報の伝達および細胞間伝達に関与している可能性がある。Wnt3A、Wnt3、Wnt1によって活性化され、程度は低いもののWnt2によって活性化されますが、Wnt4、Wnt5A、Wnt5B、Wnt6、Wnt7A、Wnt7Bによっては活性化されません。 ,類似性:Gタンパク質共役受容体Fz/Smoファミリーに属します。 ,類似性:1つのFZ(frizzled)ドメインを含みます。 ,組織特異性:成人の心臓、胎盤、肺、腎臓、脾臓、前立腺、卵巣、および胎児の肺と腎臓で発現します。 ,

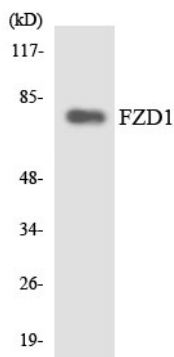
## 研究分野

WNT、WNT-T細胞、メラニン生成、がんの経路、大腸がん、基底細胞がん

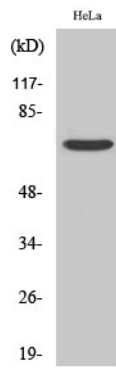
## 画像データ



FZD1抗体を用いたHeLa細胞およびCOLO205細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



FZD1抗体を使用したHT-29細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



Frizzled-1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析